



学校関係者評価報告書

令和 三 年度

令和 4 年 7 月

学校法人 日中文化芸術学院

日中文化芸術専門学校

はじめに

日中文化芸術専門学校が発表した「自己点検・自己評価報告書」をもとに、適宜学校職員と面談し、学生アンケートによる意見分析、関係者からの意見等を総合的判断した本年度の「学校関係者評価」を実施致しました。新型コロナウイルス感染症がまだまだ継続していますが、教職員の努力が確実に with コロナ時代の教育成果につながっていることを確信する事ができました。本報告書が学校改善の一助となり、益々発展される事を委員一同祈念いたします。

学校関係者評価委員会

令和4年7月16日

日中文化芸術専門学校
校長 橋本 博文 殿

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告

令和3年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員会委員

No	氏名	所属	種別
1	張 治中	株式会社アレキサンダーアンドサン 副社長	企業委員
2	齊 会発	大阪帰国者会 会長	業界団体委員
3	勝部 宏一郎	豊丸商事株式会社 代表取締役	企業委員
4	李 函陽	株式会社日中文化経済事業団 職員	企業委員
5	DO THI VIET TRINH	株式会社日中文化旅行センター 職員	企業委員
6	余 維	関西外国語大学 教授	他学校委員
7	山川 雪飛	日本三和文化株式会社 職員	企業委員
8	陳 輝	株式会社日中文化旅行センター 執行役員	企業委員

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和3年12月10日（会場 日中文化芸術専門学校会議室）

第2回委員会 令和4年3月25日（会場 日中文化芸術専門学校会議室）

第3回委員会 令和4年7月22日（会場 日中文化芸術専門学校会議室）

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標①について

文化・翻訳・通訳・観光分野において、国際感覚を身に付け、日中両国で活躍できる人材の育成が日中文化芸術専門学校に与えられた重大な責務である。

2 重点目標②について

専門的な知識を学び共に、実践能力を備える、オールラウンドな国際的人材を育成することを目標とする。

3 重点目標③について

学生の健康な心身と豊かな人間性・国際的な視野を育成し、即戦力・学力を備えたハイレベルな人材を育成する。

- ・本年度、この目標を達成している。
- ・次年度もこれを目標にして、国際人材育成に尽力してください。

II 各評価項目について

教育理念：国際的に活躍できる文化・翻訳・通訳・観光分野の人材を育てることが日中文化芸術専門学校の理念である。

教育目標：文化・翻訳・通訳・観光の知識を合わせ持つ総合的人材を育て、本学院生が世界の舞台上で活躍し、社会的貢献をすること。

能力1 健康な心身と豊かな人間性の育成；国際的な視野の育成；即戦力、学力を揃えたハイレベルな人材育成。

能力2 柔軟な問題解決能力と実践力。

1 教育理念

教育理念に基づき、教育目標の実現を目指してシラバス、カリキュラムを作っている。

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・ 学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

コロナ禍における学生の就職。

② 今後の改善方策

コロナ禍の影響が変化し、企業活動が活発になった。積極的に企業説明会などを開催したい。

③ 特記事項

2020年に続き、コロナ禍の影響がつづきました。その中で努力し、理念に基づいて人材育成を行っている。

2. 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

令和3年度はコロナ禍の影響がある中でも、安定した運営状況だといえる。

3 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

コロナ禍での教育の質の維持、感染対策。

② 今後の改善方策

遠隔教育授業の有効活用。対面授業の充実及び感染対策。

職業教育の充実

③ 特記事項

コロナ禍のため、実習先が例年ほどホテルや旅行社で実習を受け入れてくれなかった。その中で可能な限り企業と連携をとり、経験がある講師を招いたりして学生に職業知識を伝えた。

4 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	②	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	④	3	2	1

① 課題

昨年に続き、コロナ禍において学生の就職が難航した。

② 今後の改善方策

観光、ホテル業界以外の就職先の開拓

③ 特記事項

2019年度は進路指導の結果により、退学率が減り、就職率と進学率が上昇したが、

2020年度はコロナ禍の影響で就職が困難で内定取り消しなどもあった。2021年度はさらに難しくなり、内定者が減った。だが、2022年7月時点では2021年度卒業生から就職の報告が出始めている。

5 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・ 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

① 課題

健康管理や課外活動を担う組織体制の確立

② 今後の改善方策

課外活動を充実させる。

③ 特記事項

学生支援はキャリア支援センターより進学指導体制の構築、就職活動指導体制作りと進んでいる。学生課より出席、アルバイト指導を強化している。生活指導や留学生に対するビザの更新に関する指導も常に行っている。新型コロナウイルス感染症の影響がまだ続いているため、学費の分納、延納などにも例年より柔軟に対応している。

6 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

設備の充実。コロナに影響されないインターンシップの充実

② 今後の改善方策

デジタル化など設備の見直し。企業との連携の強化

③ 特記事項

施設・設備は効果的に教育目標を達成できるように、事業計画に明確にして、安全、快適な教育環境を提供できるように計画的に整備。総務課より専門的な管理運営、特別警備員より近隣環境の美化など維持を行っている。非常口の定期点検などを実施している。図書室も蔵書量を増やすことで充実させている。学外実習等の体制も整備されている。留学生が多いため、昨年度までは防災対策として、防災センターの見学、防犯・防災講習会をした。昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。タブレット PC を新入生に配布し、教育のデジタル化を進めた。

7 学生の募集と受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

入学者数を増加させる。

② 今後の改善方策

Web上のオープンキャンパス、ZOOMなどの質疑応答などを実施し、withコロナ時代の学生募集方法を確立させる。

③ 特記事項

大阪府の指導通りに定員内の募集を行った。日中文化芸術専門学校の紹介は、ホームページ、パンフレット、チラシ、広告を通じて入学希望を持っている学生に周知徹底している。昨年につき、新型コロナウイルス感染症の影響でオープンキャンパスや日本語学校への募集は例年通りにできなかった。努力の結果、日本人学生の応募数は例年より多くなった。

8 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者が昨年度よりさらに減った。

② 今後の改善方策

オンライン説明会や10月入学の募集強化

③ 特記事項

特になし。

9 法令などの遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

現在の良い体制をつづける。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

監督官庁の大阪府私学・大学課・入国管理局が定めた法令等を遵守して学校運営を行っている。自己点検・自己評価を制度化し、毎年、定期的に行うように定めている。

10 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	①

① 課題

公開講座などを充実させる。

② 今後の改善方策

昨年に続き可能なものから挑戦していく。

③ 特記事項

公開講座を動画などで試ようと企画があがっている。

11 国際交流

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

留学生の就職、在籍管理体制、国際交流などをさらに充実させる。

② 今後の改善方策

新型コロナウイルス感染症が収束しだい、国際交流、留学生支援体制をさらに充実させていく。

③ 特記事項

姉妹校など、海外との連携を強めたが、新型コロナウイルス感染症の影響で企画が進まないままである。留学生に対して、補講などを積極的に行い、学修支援を行った。